



人・夢・あかえ



find us on facebook



赤江寺子屋 『ジャズと茶の湯Ⅱ』 令和3年11月6日(土)

昨年大好評だった「ジャズと茶の湯」の第2弾!今年、ボーカル(ユフオニウム)、ピアノ、ベースにドラムを加えて「ジャズと茶の湯Ⅱ」を企画しました。

今年もコロナ禍で緊急事態宣言が断続的にあり、開催できるか危惧されましたが、たくさんのご応募をいただき、抽選で10代から90代の方々40名を招待し、コロナ対策を万全に行い、無事開催する事ができました。

当日はシトシトした雨になりましたが、演奏が始まるとその迫力と軽快な楽器のやりとりに参加者は次第にジャズの世界に溶け込んでいきました。宝泉寺の本堂は百年余りの建築様式で天井が高く音響効果もあり、参加者の方からは「お寺を楽しめ、ジャズを楽しめ、お茶も楽しめる3つの素敵なことがそろったとても素敵な経験ができました。」「自治会回覧で知り、ジャズもお茶も好きな上に地区内の粋な空間で楽しめました。」など、ご満足の感想をたくさんいただきました。

最後の曲「スマイル」は皆さんが良く知っている曲で身体でリズムを取りながら口ずさみ、曲が終わるとすぐにアンコールの声がかかる楽しい演奏会になりました。



まち歩き『晩秋の赤江路と月見ヶ丘をめぐる』 令和3年11月27日(土)

秋晴れの下、21名の参加者と12名のスタッフが約5キロメートルを歩きました。8歳から88歳までの幅広い年齢層が同じペースで歩けるのかと当初心配したものの、皆さん歩き慣れている方ばかりで、終了後も澆^{はつらつ}とされていました。六地藏塔^{はつぎやういんとう}、宝篋印塔、吉永の水神様、尊氏橋墳^{たかうじきやうふん}、源藤神社、寺^{てら}ん堂、最後に月見ヶ丘の母子像をめぐる。参加者のほとんどが地元在住の方々でしたが赤江のことを知るいい機会になりました。



防災かまどベンチ事業 令和3年11月23日(祝・火)

赤江東中学校に防災かまどベンチ新設!

ちびっ子-小中学校-ミドル、そしてシニア世代混ぜこぜ全員作業参加で見事完成。建築士会の皆さんの指導のもと、工程にあわせて分担作業の始まり、ワイワイがやがやの弾む声で順調に進みます。

モルタル練り・のこぎりで加工・耐火煉瓦積みと、作業に手を焼きながらも初体験!レンガ積みはなかなか経験できない貴重な手仕事でしたね。終盤になると「ここ目地の厚みが揃っちゃらん」とか「隣どうしのレンガの高さが微妙に違うね」など職人さん専門用語まで飛び出す!物づくり、みんな集まっただけの楽しさ味わってもらえたなら、いいイベントと言ってもいいでしょう。次回も計画しますので、奮って参加くださいね。



熱気球から地域を眺めよう事業

令和4年1月8日(土) 恒久小学校 実施
令和4年1月15日(土) 宮崎南小学校実施
令和4年2月19日(土) 赤江小学校(新型コロナウイルス感染症拡大を受け中止)

恒久小学校と宮崎南小学校の6年生を対象に、熱気球の搭乗体験とプランターの花植えを行いました。

早朝のまだ暗いうちに集合し、宮崎大学気球部の協力で、それぞれの校庭で直径約15mの熱気球に搭乗し、校舎よりも高く上昇しました。子どもたちは大喜びで、友達や親、先生に手を振ったりして、気球からの景色を眺めていました。また、みやざき公園協会の協力をいただき、バンジーやプリムラの苗をプランターに植え学校に寄贈しました。卒業式にはたくさんのきれいな花がお祝いしてくれることでしょう。



あかえ花いっぱい事業

令和3年11月14日(日)



「多肉植物の寄せ植え教室」

当初9月25日(土)実施予定でしたが、まん延防止等重点措置を受け、急遽11月14日(日)に変更し実施しました。

講師にNPO法人 オープンガーデンサン・フラワー代表の新名れい子先生をお迎えし、日時が変更したにも関わらず、21名の方にご参加いただきました。

新名先生指導のもと、土の配分・配合、多肉植物の植え方・管理の仕方を教えていただき、参加者からの質問も多く寄せられ、先生が一つ一つ丁寧に教えてくださいました。

最後は全員が出来上がった寄せ植えを披露して、大盛況のうちに終わりました。



安全に関する訓練及び講座事業

令和3年11月17日(水)

「防災施設研修バスツアー」

昨年11/17(水)に、16名の参加を得て宮崎県防災庁舎、宮崎港に建設されている「命の丘」、宮崎市島山地区複合型津波施設、木花の総合運動公園に令和3年10月に完成したばかりの「津波避難タワー」の施設見学の研修を実施しました。

今回は赤江地域における自治会長の皆様方と赤江地域まちづくり推進委員会の会員に御声掛けし、宮崎県内及び宮崎市における防災施設状況、災害時の対応、減災対応等について県及び市の危機管理課の担当者より研修を受けました。

参加者からは「県の防災システム、防災発生時の初動体制の講義を受け、宮崎県の状況が理解できた。」「減災への対応の大切さ等日頃からの訓練、準備が大切である」などの感想をいただきました。

今回の研修は、津波に特化したツアーでしたが、赤江地域は海岸に近く、予想される南海トラフ地震に起因する津波は、発生から20分前後で到達すると想定されています。

「自分の命は自分で守る」を念頭に、今一度宮崎市の発行する津波ハザードマップを確認し、防災・減災に備えましょう!



まちづくり推進メンバーの紹介

現在、43名のメンバーが活動していて、あんぜん部会、つなごう部会、環境部会、文化部会、広報部会、みんなの部会があります。今回は以下のメンバーを紹介します。



忠平 隆史

「赤江城ヶ崎地域の歴史・文化を勉強しています。現在、八坂神社の総代として活動しています。当神社の奉仕活動協力を募集しています。」



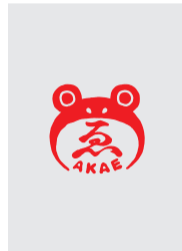
二見 俊紀

大字恒久在住です。宮崎に「ターンして、10年目になります。段々と市街地や恒久のまちの様子が分ようになりました。これからもあちこち歩き回ってみたいと思っています。」



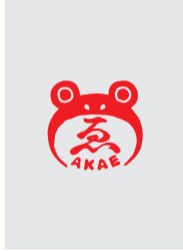
川越 みすみ

レクダンス手話ソングに出会い楽しく過ごし 地域の皆様との出会いに感謝! 感謝!



日高 栄子

あんぜん部会・つなごう部会に属しています。さんさんクラブ活動や民生委員・主任児童委員として老若男女と関わっています。



岩切 新一

災害のときにも強い地域を目指し、防災士の知識を生かしてみなさんのお役に立ちたい。



富田 ひろみ

宮の元在住です。赤江生まれ、赤江育ち。ずっとお世話になってきた赤江に恩返しできたらと思っています。



川越 捷吾

子供達は勿論、地域住民皆が将来に渡って安心・そして楽しく住んで良かったと実感出来る、そんな歴史ある赤江のまちづくりに努力したい。



矢野 哲俊

時間の許す程度で活動しております。環境部会は楽しいですよ。部会員が少ないので、是非一緒に活動しましょう。



野中 裕二

田吉在住の野中です。住みやすい赤江地域になる様に勉強します。



松本 房純

月見ヶ丘南区に住んでいます。今年も果実の季節になりました。シャベットやジャム作り楽しもう!と楽しみにしています。出来味は...?ですが、今年も事業参加よろしく!



長濱 毅

宮崎観光ホテル調理師。17年前に大阪からサーフィン移住。大好きなこの町"あかえ"に飲食店を開くのが夢!



青山 桂子

しあわせの種を蒔き、しあわせの畑を耕す。そんなまちの一員であることに幸せを感じます。

一緒に赤江のまちづくり活動に参加しませんか?

安全、福祉、環境、文化などさまざまな面で、未来に向けて楽しく住みよいまちに盛り上げていきましょう! あなたの特技や趣味が活かせるかもしれません。

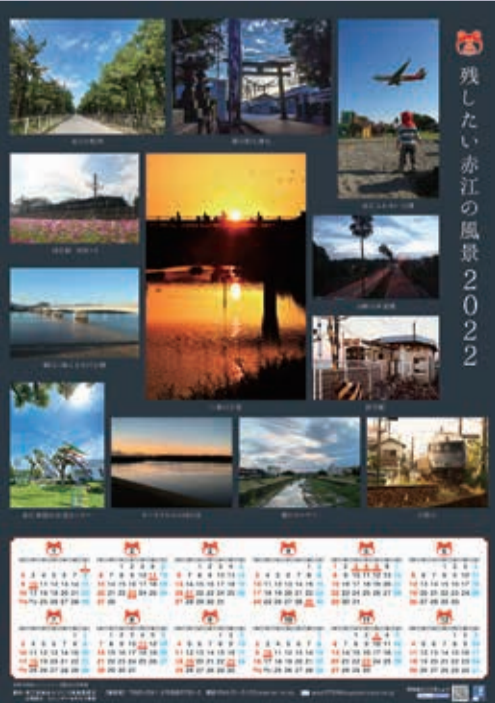
カレンダーを作ろう事業



カレンダーを作ろう事業は4年目となりました。今年度はカレンダーに掲載する写真の募集を広く呼びかけた甲斐もあり、多数(53作品)の力作が揃いました。プロのカメラマン2名と県立高校写真部の先生に審査員になっていただき、「残したい赤江の風景」にふさわしい写真を厳選していただいた結果、素敵なカレンダーに仕上がりました。

作成したカレンダーは、各自治会や郵便局、学校、病院などご協力いただき、約1000枚配布することができました。

来年度も継続したいので、赤江の風景写真を奮って応募してね!



赤江地域まちづくり推進委員会 新メンバー紹介



新会員紹介

- あんぜん部会 野中裕二さん・富田ひろみさん
- つなごう部会 村社雅美さん・永谷文子さん
立本昭太さん
- 環境部会 小西則子さん

赤江地域まちづくり推進委員会事務局

〒880-0911 大字田吉5730-3

電話(FAX) 51-5122

(平日9:00~16:00)

✉ akae5730@miyazaki-catv.ne.jp ↑

